

NZ、反核政策を強化

九月二七日ニュージーランド労働党の集会において、ロングニュージーランド首相は「ANZUS条約が二兵器積載艦船寄港承認を要求しているのであれば、同条約は米国との良好な関係の『障害物』となる」と語った。

ANZUS脱退を示唆するこの発言は、「核艦船寄港禁止」法制化を進めていたものである。また「ニュージーランドと米国の防衛関係は、将来の我々の防衛協力の基礎としなければならない通常（非核）の防衛

体制を実行できるように改正されるべきである。」これによつて、米国とニュージーランドとの防衛関係が以前と全く同じ状態に戻る可能性はなくなる」「両国は、核の持ち込みを許してきたかつての防衛関係は終わるのだ、ということを前

載艦船寄港拒否から、その寄港禁止の立法化へと進む中で、米国との世界戦略を太平洋地域において担つA

NZUSからの脱退—米国権の非核政策は、米の核艦船が、核積載か非核かをそのつど明らかにすること、彼らの核戦争戦略そのものを極度にもろいものとする以上絶対に認められない。逆に核ぬきに彼らの軍事戦略は成りたない。ニュージーランドの核艦船寄港政策が具体化すればするほど、米帝を軸とする

の核戦争戦略を担う役をわざりから離脱へと發展せんとしている。

米国にとっては、自国の艦船が、核積載か非核かをそのつど明らかにすること、彼らの核戦争戦略そのものを極度にもろいものとする以上絶対に認められない。逆に核ぬきに彼らの軍事戦略は成りたない。ニュージーランドの核艦船寄港政策が具体化すればするほど、米帝を軸とする

軍事同盟ANZUSは、崩壊へとおいつめられるのである。結果として米帝の世界戦略に対して強烈な痛打を与えると同時に彼らの核戦争具体化を許さない力として包囲していくことにつながっている。

八二年のSSD IIに向

て高揚した国際的反核運動はニュージーランドにおいても例外ではなかった。

そして以降もねばり強い反核運動はより広範な層を結

本平和原水禁運動においてもこの闘いを教訓化し、南

太平洋の闘いと連帶した広

範な統一した平和運動が今

まさに問われている。

統一が叫ばれて久しい日

ドから南太平洋の各国に致

るまで広がっている。

豪州、ニュージーラン

ドの闘いを教訓化し、南

太平洋の闘いと連帶した広

範な統一した平和運動が今

まさに問われている。

本平和原水禁運動においてもこの闘いを教訓化し、南

太平洋の闘いと連帶した広

範な統一した平和運動が今

まさに問われている。

統一が叫ばれて久しい日

ドから南太平洋の各国に致

るまで広がっている。

豪州、ニュージーラン

ドの闘いを教訓化し、南

太平洋の闘いと連帶した広

